

にしあいづ

あいづ湯川・
会津坂下

会津柳津

道の駅を“学びの場”に！ ミニ地域活性セミナー



×



未来と地域づくりを考える 道の駅「西・奥会津ネットワーク」シンポジウム

2018年11月6日(火)
14:00-16:30

[会場] 三島町交流センター 山びこ
福島県大沼郡三島町大字名入字諏訪ノ上 418

尾瀬街道
みしま宿

奥会津
かねやま

からむし織の里
しょうわ

入場無料
申込み不要

主催：道の駅「西・奥会津ネットワーク」実行委員会

後援：全国「道の駅」連絡会／特定非営利活動法人 人と道研究会／

国土交通省東北地方整備局郡山国道事務所／柳津町／西会津町／三島町／金山町／湯川村／
会津坂下町／昭和村／会津美里町／只見町／

道の駅「会津柳津」／道の駅「にしあいづ」／道の駅「尾瀬街道みしま宿」／

道の駅「奥会津かねやま」／道の駅「あいづ湯川・会津坂下」／道の駅「からむし織の里しょうわ」

協力：環境省／特定非営利活動法人 ふるさと回帰支援センター／会津まちの駅連絡会／
あいづ道の駅交流会

協賛：(公社)国土緑化推進機構／セコム株式会社／株式会社ケービーエフ／オーキット株式会社

未来と地域づくりを考える 道の駅「西・奥会津ネットワーク」シンポジウム

観光を通じて交流人口を増やし、特産品の販売と6次産業化を通じて地域に豊かさと呼び込み、あわせて、防災力も強化する——。地方創生の拠点として「道の駅」が果たす役割が注目を集めています。ただ、そうした「道の駅」のパワーを最大限に引き出すためには、隣接する「道の駅」がスクラムを組んでエリア全体の魅力をまとめ上げ、共同で情報発信していくことも今後は大切になってくるのではないのでしょうか。豊かな自然に恵まれ、長い伝統が息づく「西・奥会津」の地で、地域住民、有識者、道の駅、自治体等参加者全員で、未来と地域づくりについて考え、交流するシンポジウムを実施いたします。

プログラム

① 開会挨拶 (14:00 ~ 14:05)

両沼町村会 会長、会津坂下町 町長 斎藤 文英 氏

② 来賓挨拶 (14:05 ~ 14:10)

国土交通省 東北地方整備局
郡山国道事務所 所長 赤森 充 氏

③ キックオフ シンポジウム (14:10 ~ 15:40)

テーマ：未来と地域づくりを考える
道の駅「西・奥会津ネットワーク」

[メインスピーカー(総括)]
(株)JTBパブリッシング エグゼクティブアドバイザー 楓 千里 氏

[コーディネーター]
全国「道の駅」連絡会 「道の駅」アドバイザー 小山 源昭 氏

[パネラー]
柳津町長 井関 庄一 氏 金山町長 押部 源二郎 氏
西会津副町長 工藤 倫也 氏 湯川村長 三澤 豊隆 氏
三島町長 矢澤 源成 氏 昭和村長 舟木 幸一 氏

<休憩> (15:40 ~ 15:55)

④ 講演 (15:55 ~ 16:15)

「日頃の小さな取組みが、未来を大きく変えていく」
うつくしま地球温暖化防止活動推進員 新山 敦司 氏

⑤ 道の駅「西・奥会津ネットワーク」宣言 (16:15 ~ 16:25)

道の駅6駅の駅長：

- ・「会津柳津」駅長 杉原 啓輔 氏
- ・「にしあいづ」駅長 鎌倉 明雄 氏
- ・「尾瀬街道みしま宿」駅長 布川 孝宏 氏
- ・「奥会津かねやま」駅長 滝沢 悦郎 氏
- ・「あいづ 湯川・会津坂下」駅長 春日部 裕治 氏
- ・「からむし織の里しょうわ」駅長 舟木 容子 氏

⑥ 閉会挨拶 (16:25 ~ 16:30)

柳津町長 井関 庄一 氏

※プログラムは予告なく変更する場合があります。

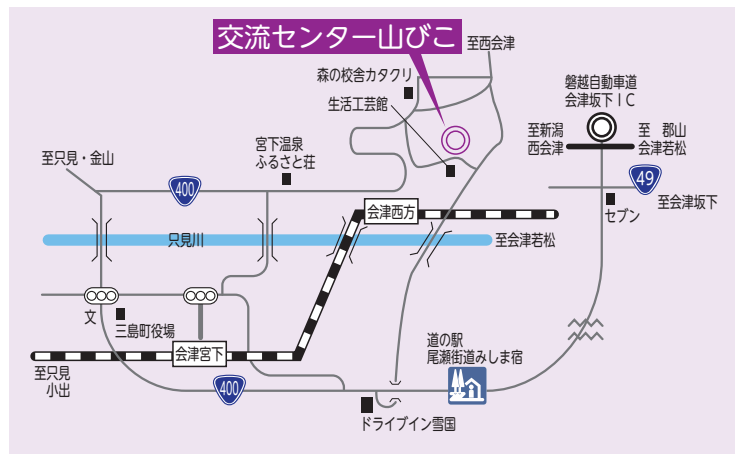
交通のご案内

<電車をご利用の方>

- 東京 ⇒ 東北新幹線(85分) ⇒ 郡山 ⇒ 磐越西線(65分) ⇒ 会津若松 ⇒ 只見線(90分) ⇒ 会津西方 ⇒ 徒歩15分 ⇒ 三島町交流センター山びこ
- 東京 ⇒ 東武線・野岩鉄道・会津鉄道(265分) ⇒ 会津若松 ⇒ 只見線(90分) ⇒ 会津西方 ⇒ 徒歩15分 ⇒ 三島町交流センター山びこ

<お車でお越しの方>

- 東京 ⇒ 東北自動車道(175分) ⇒ 郡山JCT ⇒ 磐越自動車道(45分) ⇒ 会津坂下(ばんげ) IC ⇒ 国道252号(20分) ⇒ 三島町交流センター山びこ



受付窓口及びお問合せ